

平成30年度

# 特別支援教育指導法 (ICT活用)研修講座

◆ 平成30年8月3日(金)

タブレット PC や電子黒板といった ICT 機器を活用した教育環境の充実は、特別支援学校に通う障害のある子供の学びの質を大きく変えつつあります。本研修講座は、特別支援学校教員の ICT を活用した指導力向上を目指して行われました。

はじめに、国立特別支援教育総合研究所の新谷洋介主任研究員から、「ICT ありきではなく、大切なのは、一人一人の子供の困難さに応じた代替手段として、多くの教育手段の中の一つとして捉えて欲しい」とお話がありました。講義の中では、様々なアプリを提示し、一緒にタブレットを操作しながら活用の仕方について説明されました。

午後は、お二人の特別支援学校の先生の実践発表と研究協議を行いました。研究協議では、「特別な教育的ニーズに応じた ICT の活用」をテーマに、いくつかの事例に対して必要な ICT の活用方法について検討しました。

受講者からは、「今回学んだことを活用して、子どもたちへの指導を充実させたい」との感想が聞かれました。



国立特別支援教育総合研究所の新谷洋介主任研究員をお招きして講義・演習が行われました。様々なアプリも紹介いただき、多くの情報が得られました。



「特別な教育的ニーズに応じた ICT の活用」をテーマに、研究協議を行いました。ICT 活用を得意とする受講者が、多くの情報を提供しながら協議が進められました。



研究協議での結果の共有も ICT を活用して行いました。ロイロノートやマインドマップ、キーノートを活用するなど発表の形にも工夫が見られました。